

このページは、『飛び出すしかけ絵本の作り方アリスのレシピ』の一部を抜粋したものです。

詳細はこちらをごらんください <http://www.popup-alice.net/alice.html>

飛び出すしかけ絵本の作り方 アリスのレシピ パート1

ポップアップ入門



シンプルポップアップをマスターしよう



「斜め折りポップアップ」「平行折りポップアップ」の基本形、3本の折り線だけで作るシンプルしかけを作りながら、ポップアップづくりのコツ、ポイントを覚えていきましょう。

準備

「ポップアップ展開図」をご用意ください。
のり、はさみ、鉄筆、定規をご用意ください。

ワンモア!

ポップアップ展開図のしかけは、のりしろ部分を特にのりしろとして作ってはいません。切らなければしかけにならない！ 最低限のところだけ切り込みを入れています。

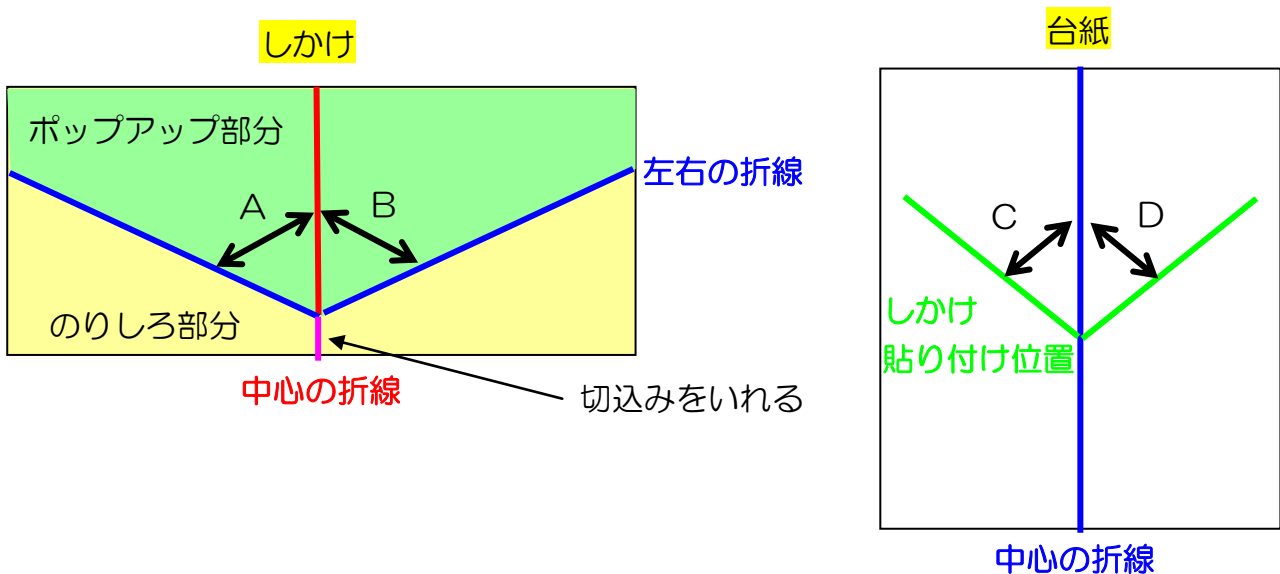
のりしろ作りの練習をかねて、のりしろ部分はご自身できれいに整え、のりしろらしいのりしろにしてください。

『のりしろについて』でご説明したのりしろ作りのポイントと、『しかけを切り抜くときに』の作成ポイントを参考にしてくださいね。

■斜め折りポップアップについて

しかけの**中心の折線**に対して、**左右の折線**に角度がついているのが、**斜め折りポップアップ**です。

斜め折りのポップアップの展開図（簡易）は下のようになります。



しかけの緑色の部分が台紙から起き上がる（ポップアップする）部分、黄色の部分はしかけを台紙に貼り付けるための、のりしろになる部分です。

3本の線の交差点より下（ピンク線）は、切り込みを入れます。

台紙の中心の折り線をはさんで、しかけを貼り付けると飛び出すしかけができます。

斜め折りポップアップは、しかけの中心の折り線から左右の折り線までの角度（A、B）と台紙にしかけを貼り付ける角度（C、D）によって、しかけがどれくらい台紙から起き上がるのか、正面から見たとき、横から見たときのしかけの形が違ってきます。

折り線と貼り付け角度は、斜め折りポップアップしかけ作成で大切なポイントです。サンプルポップアップを作りながら、上記点を確認してくださいね。

✂️ レシピを読みながら斜め折りポップアップを作成してください。

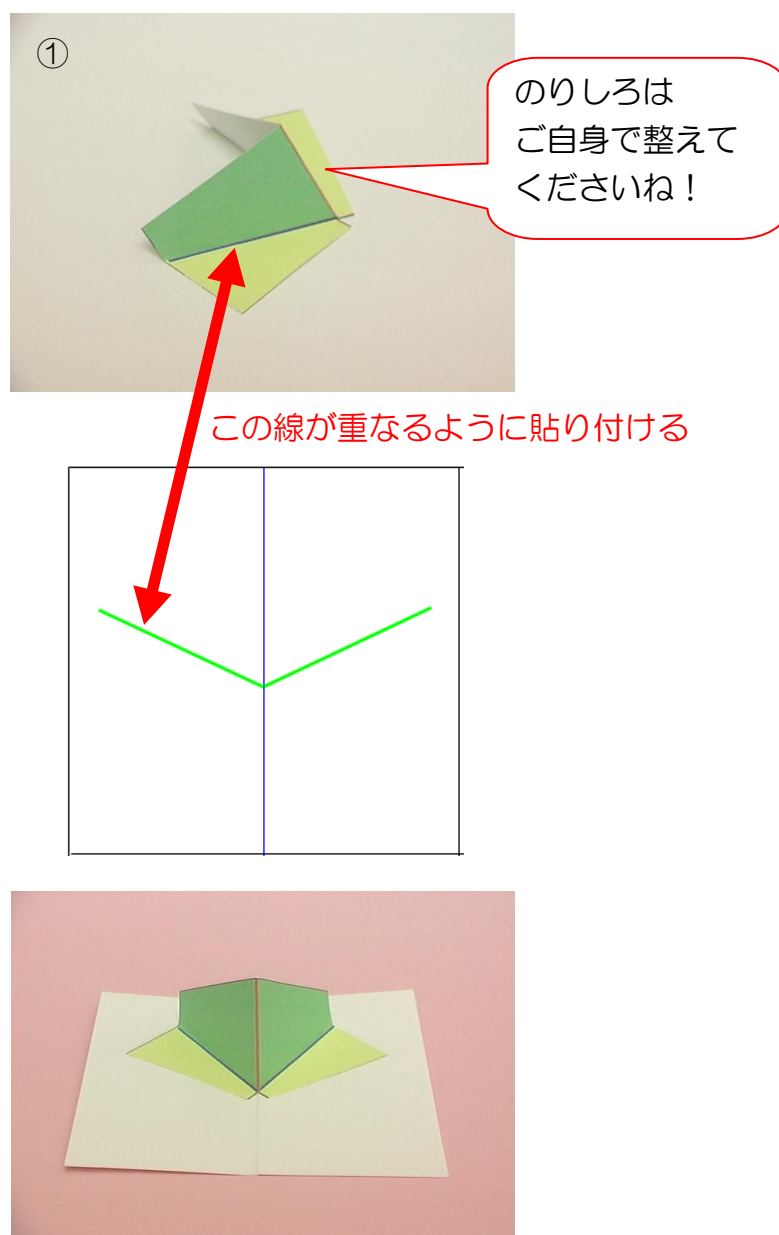
■斜め折りポップアップ展開図1（左右均等の斜め折りポップアップその1）

展開図1は、前項のAとBの角度が左右で等しい斜め折りのポップアップです。

しかけの形（折り線の角度A、B）がまったく同じポップアップが、台紙に貼り付ける角度（C、D）によってどう変化するのか、を確認してくださいね。

しかけは図①のように折ります。台紙は中心（青線）で2つ折りにします。黄色い面の裏側にのりをつけ、台紙の緑線としかけの折り線を重ね合わせて貼り付けてください。

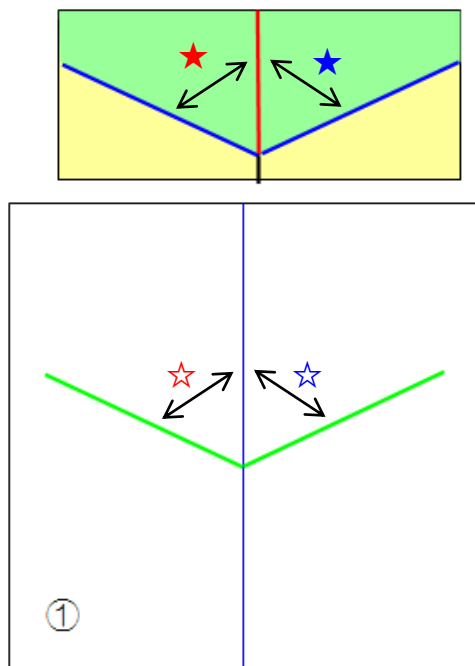
作り方は、はじめの一步の180度の斜め折りと同じです。



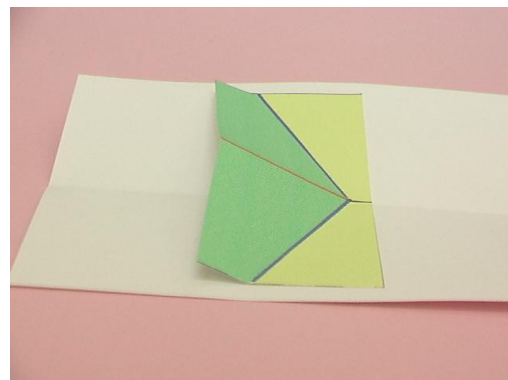
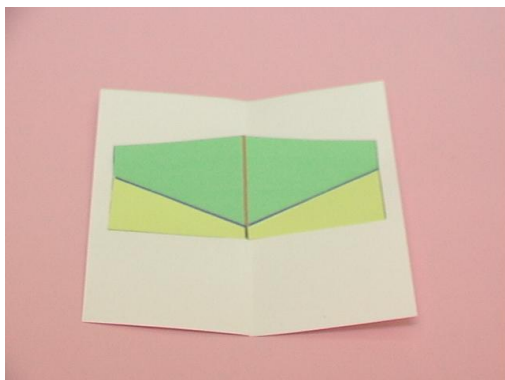
展開図1-①は、ポップアップしかけを最大限に広げて取り付けます。

しかけの折り線の角度と台紙の折り線の角度が等しくなっています。（★=☆、★=☆）
しかけは、この角度（緑線より下）を超えて貼り付けることはできません。

台紙が180度には開かなくなります。

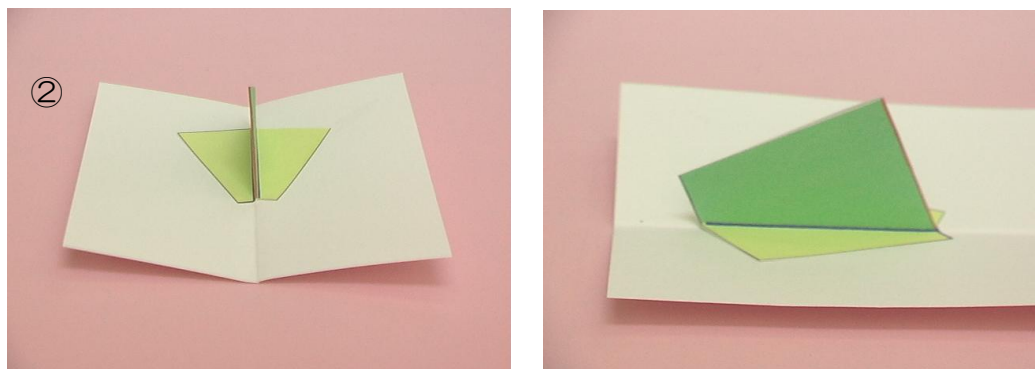


この角度で貼り付けた場合、理論的には台紙としかけは平行になりますが、折り線がついているため、実際はしかけが台紙からほんの少し起き上がった形になります。

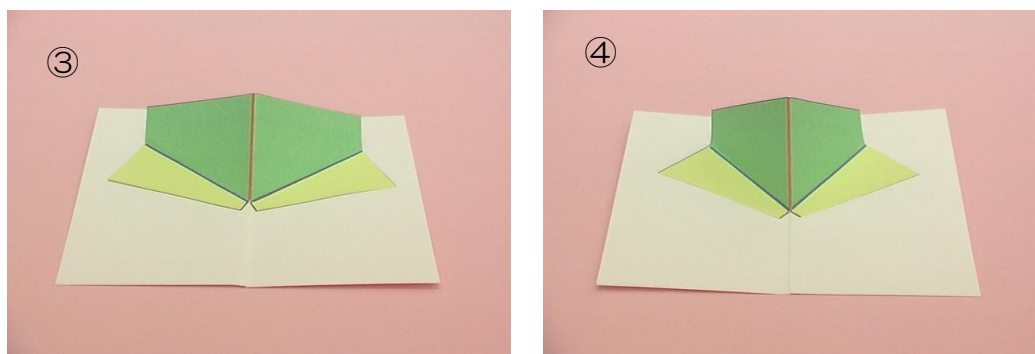


展開図1-②は、①とは逆に、貼り付け角度を最小限にしたものです。

台紙の折り線と平行にしかけを取り付けます。
正面からは緑の面がまったく見えなくなりますね。



展開図1-③と④は、①と②の中間の角度にしかけを貼り付けています。
貼り付ける角度が鋭角になると、正面から見たときにしかけの見える面が少なくなります。



横から見た場合です。③と④ではしかけの起き上がり方が違います。
貼り付け角度が広くなればなるほど、しかけの起き上がりは低くなるんですね。

